

令和2年(2020年)3月4日(水曜日)

『富士山の恵み、静岡、山梨で調査』

三島市のNPO法人グラウンドワーク三島は、富士山を囲む静岡、山梨両県の湧水地を調査して回り、インターネット上で「湧水マップ」の作成を進めている。500カ所以上とされる現地を1カ所ずつ訪れ、位置情報や写真、周辺の自然環境などを掲載する。既に水が枯渇している場所もあり、「現状を可視化することで保全につなげたい」という。

グラウンドワーク三島

同NPOは13年前に調べている。今年は民県や各市町の調査結果から湧水地の情報をまとめたが、当時もデータ自体が20~30年前と古く、現状把握の必要性を感じて約10年前から調査に乗り出した。三島市と東西南北の富士山麓を巡り、水温のほか不純物の含有量を示す電気伝導率なども教えてもららうなど、思

現地写真や「現状知り保全に」 生物情報…



湧水地を訪れて調査する関係者=小山町

湧水マップネットで作成

わぬ発見も多いといふ。湧水マップでは現地の写真や水質、生息する生物や植生などの情報が掲載され、地図上をクリックすると閲覧できる。同NPOの渡辺豊博専務理事は「湧水は富士山の恵み。現状を知ることでありがたみを感じてもらい、下流から富士山を監視する仕組みにしたい」と語る。(三島支局・金野真仁)